

# べい ほう 米 峰

～新潟県柏崎マリーナ会報～



発行日 2002年 11月(第3号)  
発行者 新潟県柏崎マリーナ  
〒945 0854 新潟県柏崎市東の輪町 8 18  
:0257 21 1255 FAX:0257 21 1670  
E-mail:k marina@orion.ocn.ne.jp

## お知らせ

### 平成 15 年度料金改定について

来年度平成 15 年度は、新潟県の条例に定められた料金の見直しの予定となっております。新潟県へは、利用者の代表の方とも現状を踏まえ、マリーナ利用料(出港届提出時にお支払いいただいているもの)の廃止を含む料金の値下げの要望を昨年来から行っております。

県の財政事情の厳しい折、要望が反映できるかどうかは不確定ですが、平成 14 年 12 月新潟県議会に改定案が提出される予定になっております。現段階(11/20 寄稿時)では、改定案をマリーナも承知しておりませんが、2 月の許可更新案内の折には、改めてご案内する予定にしておりますので、ご承知置きいただきたく存じます。



### しゅんせつ 浚渫について

例年、港口に砂がたまる件については本年度も予想されるわけですが、新潟県も 11 月の下旬頃から天候を見ながら一部浚渫を開始することになりましたので、お知らせいたします。詳しくはマリーナまでお問合せください。

### 年末の休業日について

12 月 29 日(日)～平成 15 年 1 月 3 日(金)まで。新年は 1 月 4 日(土)から営業を開始いたします。なお、マリーナへはカードキーによって常時出入り可能です。

### 会員納会の開催について

先にご案内させていただきましたが、初めての企画として、来たる 12 月 14 日(土)に「マリーナ会員懇親会」を開催させていただくこととなりました。なにぶん準備不足の面もあり、ただ、杯を重ねるだけではありませんが、1 年のマリンライフの締めくくりとしてたくさんの皆様方のご参加をお待ちしております。

(日時) 平成 14 年 12 月 14 日(土) 18:30 から 20:30 まで

(場所) 柏崎ベルナール(住所: 柏崎市宝町 3-28 / :0257-22-2255)

(会費) 5,000 円(当日、受付にて申し込み人数分いただきます)

(その他) 艇ごとに出席者をまとめていただき、11 月 30 日(土)までに、すでにお送りしております返信用のはがき、もしくは電子メールにてマリーナまでお早めにお知らせください。なお、会場・お席の都合上、締め切り後の人数の変更は原則お応えできませんので、ご了承下さい。



## トピックス

### いしなぎ 「23kg の石投げが釣れた!!」

去る 10 月 5 日(土)当マリーナ所属のボートが 23kg のイシナギを見事釣り上げた! 6 月の 11kg のアラを超える大物で、柏崎マリーナ 開港以来最大ということあり当日マリーナはにわかには沸き立った。釣り上げた氏、いわく、「当初深海にて八チメ釣りをしていたところ、ふと、竿を見ると 竿先が海面に突き刺さっていて、最初は根掛りしたものだと思い、仕方なく糸を切ろうとたくり寄せたところグイッ、グイッと明らかに魚の暴れる感触が手に伝わってきた。この水深でここまで強い引きがあるのはサメかイシナギに違いないと思ったが特



殊な物を除き通常の竿で上げられる魚の限界は20～25kg。といわれているため、一瞬ラインを切ろうと思ったとのことだが、そこは釣り師、細く、頼りないラインを巧みなドラッグ操作と竿さばきで奮闘、約20分間の格闘の末、ようやくその見事な魚体が深海から上がって来た。一番魚をバラシやすいのは海面から引き上げるときのため、最後は慎重を期してサッとタモですくい、そこからは2人がかりで船上に引き上げた。」

このヒットは、万が一のこともあると思い、常日頃から大物が掛かっても良いように、竿と糸を太目の物にしておいた用心深さに加え、針掛りした獲物は逃がさない氏のテクニック、その両方がうまくかみ合った結果だったのではないだろうか。いずれにしても、誰でも一朝一夕にはお目にかかれぬ魚なのは確かであり、この海域にはさらにすごい巨魚がいることを想像させる出来事であった。

### 【解説】

北日本から西日本にかけてのほぼ全域の沖合いに分布。通常は400m以深の深場に棲息し、八十八夜の後の大潮まわりになると、イカや魚を追って100m前後の浅場に乘っ込んでくると言われている。30cm程度の魚なら、一口で飲み込むほど大きな口を持つ。アタリが来ると、竿先が海面に引きずり込まれるほどの衝撃が襲ってくる。針掛り直後の引きは強烈だが、根魚のもう一方の雄「クエ」と違って巨体の割には瞬発力がやや弱い。根魚としては、クエをはるかにしのぐ、わが国の釣魚の最大級で、体長は1m数10cmに達し、体重は100kgを軽くオーバー!する大物も多いとのこと。ただし、竿で釣り上げるには、20～30kgが限度。

### 「10/26～30 低気圧の通過で大荒れとなる！」

秋を表す言葉に「一雨一度」という言葉があります。秋は一雨降るごとに1度ずつ気温が下がって秋が深まっていくという意味らしく、事実、新潟県内でも初冠雪が見られ、急に気温が下がり始めた為マリーナのロビーにもとうとう、ストーブを出してしまいました。

この時期は高気圧と低気圧が交互に通過し、周期的に天気が変わります。大体1週間に1回は低気圧がやってきて風雨をもたらすものですが、今回の天気は発達中の低気圧がマリーナ付近をゆっくりと北へ進んだ為、最大瞬間風速30km近い強風・波高5m以上の大しけ・落雷・ときにはあられやヒョウまで打ちつける始末でした。こんな天気が3日も4日も続き、この間定休日も含め、マリーナでも交替で見回りに入り、棧橋艇のロープ切れや増しもやい、陸置き艇の風による移動や船体カバー類の破れなどに対応しました。

このような数日にわたる強風はしばらくぶりのことで、足の速い台風などに比べ、今回のようにゆっくりとした動きのものは被害も大きく、台風と名がつかないだけで軽視されがちですが、ときには台風以上の危険性を持つ場合もあります。荒天の続くこれからの季節、どうしてもマリーナから足が遠ざかりがちになるとは思いますが、たまには愛艇の様子を見に来ていただければ、艇のほうもよろこぶことと思います。

<マリーナ沖防波堤>

## お魚事典

### 第3回 「<sup>ぶり</sup>鰯」 スズキ目アジ科

(方言): ワカシ イナダ ワラサ ブリ(関東)、ツバス ハマチ メジロ ブリ(大阪)

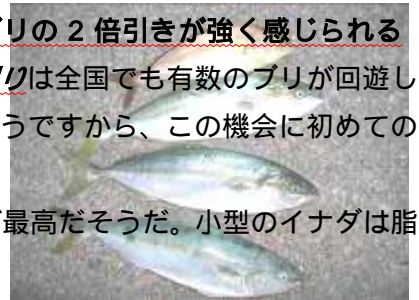
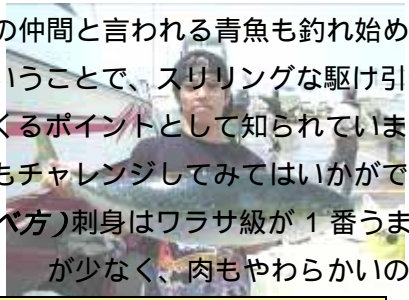
ツバエソ フクラギ ニマイズル ブリ又はサンカ(富山)、ハマチ ブリ オオイナ(高知)

(解説) 春から夏にかけて北上、最北端はオホーツク海に達し、秋から冬にかけて南下する。出世魚の代表格として知られ、「ひと潮一寸」といわれるほど成長が早い。当歳のワカシが15cm前後、2歳のイナダが40センチ前後、3～4歳で60cm級に達するとワラサ、5歳魚になり、7.5kgを越すと初めて1人前のブリとして扱われる。(関東では...)ブリは晩秋から真冬にかけて食いだし、「寒ブリ」として珍重される1月～節分にかけて旬を迎えられている。

さて、当マリーナでも春先のシーズンにはワラサ・ブリ級のものが、多い日で1日に10本以上揚がる日も少なくない様でしたし、10月に入ってから、イナダ・ワラサ級、またはヒラマサ・カンパチなどのブリ

の仲間と言われる青魚も釣れ始めています。これらは同じ大きさでも**ブリの2倍引きが強く感じられる**ということで、スリリングな駆け引きが楽しめそうです。**佐渡沖・粟島周り**は全国でも有数のブリが回遊してくるポイントとして知られています。ルアーで釣り上げる方が殆どですので、この機会に初めての方もチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

(食べ方)刺身はワラサ級が1番うま、大型のブリは**照り焼き**にするのが最高だそうだ。小型のイナダは脂が少なく、肉もやわらかいので**塩焼き**か**煮付け**が良いとのこと。



**海のみちしるべ・・・灯台**

**姫埼灯台**(位置:N38°05'02"/E138°33'57')



皆さんがよくご存知の佐渡ヶ島に10ヶ所ある灯台の中の1つで、両津湾の東端、姫埼にある灯台が、この姫埼灯台です。

同島最大の港である両津港に入港する船舶にとって、非常に重要な役割を果たしているこの灯台、普段あまり気にかけてきたこともない、どこにでもある普通の灯台と思いきや、現役の**「保存灯台」**(全国に68基あり、明治時代に建設された歴史的価値のある文化資産として重要な灯台)であり、**「日本の灯台50選」**にも選ばれています。

また、この灯台は、当時のままの状態で見守る**「最古の鉄造灯台」**(明治28年建設)でもあり、六角形の外観が現代の灯台にはない洒落た雰囲気を出しています。

同施設内には「姫埼灯台館」が併設されており、佐渡の灯台の写真が展示されているそうです。(休館日12月~3月)みなさんも、佐渡にクルージングにでもお出かけになる際には、こういった歴史とロマン溢れる灯台めぐりなどしてみたいはいかがでしょうか？

**ロープワーク講座**

船に乗る者として最低限必要なロープワークを覚えていただく為にスタートしました本講座、知ってる方も知らない方も練習してみてください。第1回目は船の出港・係留の際に棧橋に付いている**クリート**(係留用金具)に、ロープを縛る方法を順を追って説明していきます。正しい方法でクリートすれば、**簡単に強く**、しかも、**ほどきやすい!**今までは**「適当にぐるぐるっと巻いてただけ!」**なんて人は是非実践してみてください。1度マスターすれば、いろんな場面で使えるはずですよ。

まず、船から <b>遠いサイド</b> からロープをかける。	左側のツメの下を通してから上に出す。	右側のツメの下を通して図のように交差させる。	くるっと輪をひっくり返すような要領で、	そのまま、左側のツメに輪をかけて締めれば出来上がり!

**<船台について>**

船台はいくら防錆処理が施されていても、毎日潮風にさらされ、上下架の度に海水に浸っています。部材に厚みを持たせ、亜鉛メッキのコーティング(通称**ドブ漬**)をしたからと言って、当マリーナでの使用環境では残念ながら半永久的に使えるわけではなく、時間の経過と共に**サビ**が目立ってきてしまいます。船台が腐食してくると全体の



**強度が弱くなり**、保管上及び上下架作業上危険性が増すこととなります。そのため、早い時期にメンテナンスをおこない、(5年に1度位)腐食がひどい場合には新しいものに

交換しなければなりません、新品に交換するには費用的な負担も大きくなってしまいますので、サビが浮いてくる前のメンテナンスを是非おすすめいたします。その他船台のキャスターメンテ（グリスアップ・サビ落とし・サビ止めペンキ塗）も行っています。

**作業内容**： 高圧洗浄機での洗浄 分解 サビ落とし 下塗（エポキシ系） 上塗（塩化ゴム系）  
組み立て 上塗（塩化ゴム系） 船名ステッカー製作・貼付。以上の 8 行程で完了です。

**[船台再塗装料金]**

- 6m バース用：20,000 円～
- 7m バース用：25,000 円～
- 8m バース用：30,000 円～
- 10m バース用：35,000 円～
- 棧橋用（大きさによる）：36,000 円～

腐食の程度にもよるので、左記の価格は参考の価格です。あくまでも補修ですので、ひどい場合は新品への買い替えをお願いいたします。（担当まで御相談下さい）



**小型船舶の登録制度に関して**

皆様ご存知のように今年 4 月 1 日より船舶の登録制度が開始されました。当マリーナの船舶については、今までに約 50 艇が登録手続を終えています。登録を終えた皆様方には、実印を押していただいたり、印鑑証明書を用意していただいたり、色々ご協力いただきありがとうございました。

今年の登録・検査は当マリーナに関しては、11 月 28 日が最後となります。来年も中間検査、又は定期検査、あるいは名義変更等の際に登録申請を行うこととなります。検査時期の 1～2 ヶ月位前に対象艇の所有者にはマリーナからもお知らせしておりますので受検していただけますよう、お願いいたします。

**保管艇数の推移に関するデータ**

平成 14 年 11 月 1 日現在の柏崎マリーナの保管状況は、以下のとおりです。また、これから新規の艇も入って来ますので、保管艇数は随時変化します。

**(地域別内訳)**

柏崎市内	85	47.8%
刈羽郡内	6	3.4%
新潟県内	66	37.1%
県外	21	11.8%
合計	178	

**(艇種別内訳)**

DY ディンギー	8	4.5%
UB 和船	12	6.7%
MB モーターボート	128	71.9%
CY クルザーヨット	30	16.9%
合計	178	

**掲示板**

**管理棟の展示スペースに飾ってみませんか？**

皆様がお持ちの海をイメージさせる自慢の品々（写真・模型・絵など）でロビーや階段の展示スペースを賑やかに飾ってみませんか？ 夕日・ダイビング・船の写真、魚拓、ヨット・人形の模型、油絵・水彩画・子供さんが描かれたクレヨン画など色々お持ちの事かと思えます。きっと賑やかで楽しいものになると思いますので事務所までお気軽に声をかけて下さい。なお、展示中は、保険に加入いたしますので、ご安心下さい。

**「マリーナ写真館」**

管理棟ロビーにみなさんが釣ってこられた魚の写真を中心に披露目させて頂いております。お陰様で以前にも増して賑やかなものになって参りました。これらの写真を見ると、つくづくこの海にはこんなにもたくさん魚種・見たこともない巨魚がいるのだと驚かされます。今まで何枚も写真を撮らせていただいた方も、まだ 1 枚も撮らせていただけていない方も、大漁の記念に！釣果の記録に！1 枚いかがですか？

